



✓ Third party verified

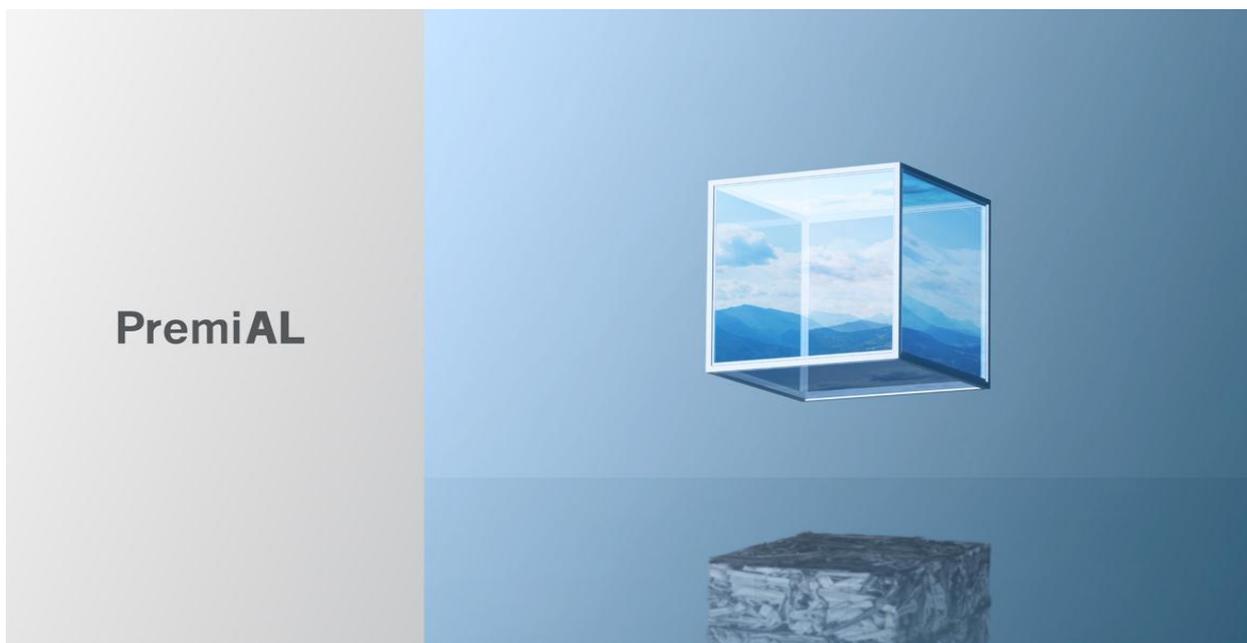
Environmental Product Declaration

Conformance with
ISO14025 | ISO14040 | ISO14044

LIXIL

株式会社 LIXIL
LIXIL Corporation

PremiAL



登録番号

SuMPO-EPD-2508-1-1

検証番号

SuMPO-EPD-2508-1-1

検証合格日

2025/ 8/ 8

公開日

2025/ 9/ 17

検証有効期間

2030/ 8/ 7

EPDタイプ

グループ製品EPD

※更新された場合は初版公開日

追加の準拠規格

ISO21930:2017

EPDは検証期間であっても、更新または公開が中止となることがあります。
EPDの最新版および有効性を確認するには以下を確認してください。
<https://ecoleaf-label.jp/epd/search>

●基本情報

>プログラム情報

プログラム名称	SuMPO環境ラベルプログラム
プログラムオペレーター	一般社団法人サステナブル経営推進機構
所在地	東京都千代田区内神田1-12-8 KANDA SQUARE GATE 4F
ウェブサイト	https://ecoleaf-label.jp

> GPI・PCR情報

GPI	SuMPO EPD Japan General Program Instructions v.2.0.1
PCR名称	建材及び建設製品
PCR登録番号	SuMPO-PCR-01000-2-0-0
PCR認定日	2025/3/31
レビューパネル委員長 (所属)	伊香賀 俊治 (慶應義塾大学 名誉教授、一般財団法人住宅・建築 S D G s 推進センター 理事長)
PCR有効期限	2030/3/30
PCR発行者	一般社団法人サステナブル経営推進機構

> 検証情報

検証の種類	ISO14025及びISO21930:2017に従った第三者検証		
	<input type="checkbox"/> 内部	<input checked="" type="checkbox"/> 外部	
	<input checked="" type="checkbox"/> 登録検証員による 第三者検証	<input type="checkbox"/> 検証機関による 第三者検証	<input type="checkbox"/> EPDシステム認証 による第三者検証
検証実施者 (所属)	淵上 智子 (合同会社エフプロ)		

> 準拠規格

準拠規格	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14040:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14044:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14067:2018
	<input checked="" type="checkbox"/> ISO14025:2006	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2007	<input checked="" type="checkbox"/> ISO21930:2017
	<input type="checkbox"/> EN15804+A2	<input type="checkbox"/> EN50693:2019	<input type="checkbox"/> ISO/IEC63366:2025

EPDに記載の情報及びEPDに記載の情報に関する環境主張についての一切の責任はEPD取得事業者が持ちます。EPDの内容に関するご不明点、確認事項については、EPD取得事業者までお問い合わせください。

EPDの比較は、建設製品の機能を十分に考慮した上で実施されなければならないため、建設製品における建材のライフサイクル全体を考慮し、建設製品において同等の用途を想定したシナリオを適用している必要があります。EPDの比較の際に考慮すべき条件は本宣言が使用するPCRを参照してください。

EPDが宣言単位に基づいている場合、比較は機能単位あたりで行われなければなりません。

環境影響評価結果はあくまで相対的な数値です。数値の大きさにより環境への影響を一概に結論づけられるものではありません。また、算定した数値は環境への具体的な影響の大きさや安全性（閾値を超過しているか等）、リスク評価（環境や人間にどれだけの影響を及ぼすか等）を直接示すものではありません。

加重平均を用いた算定の場合、ライフサイクル影響評価結果及びライフサイクルインベントリ分析関連情報、廃棄物関連情報、出力フローに関する環境情報は、特定の製品についての情報ではありません。

●EPD取得事業者情報

事業者名・部署名	株式会社LIXIL環境推進統括部 環境推進部
住所	東京都品川区西品川1-1-1 大崎ガーデンタワー
問い合わせ先	050-1780-0956
LCA算定実施者 (所属)	株式会社LIXIL LHT サステナビリティ企画推進部 今泉 直人
事業者概要	LIXILは、世界中の誰もが描く住まいの夢を実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。

●製品情報

製品名称	PremiAL		
製品の型式	アルミ形材（中間財）		
製品仕様	製品機能	アルミ形材	
	製品質量	1kg	換算係数
	製品の用途	建材及び建設製品のアルミ商品（住宅用・ビル用サッシ、エクステリア製品、産業品等）	
	技術性能	A6063及び6000系に準拠したアルミ押出形材	
耐用年数	年数	建物等の使用期間に準ずる	
	使用条件	建物等の使用条件に準ずる	
	年数を設定した根拠	-	
製造サイト（製造拠点）	下妻工場、小矢部工場、有明工場、タイ工場、ベトナム工場		
製品概要	PremiAL R70(JR-AD-22001E-A)、PremiAL R100(JR-AD-23001E-A) 以外の全てのアルミ形材		
製品ウェブサイト	https://www.lixil.co.jp/lineup/s/premiAL/		

●材料及び物質に関する構成要素

製品構成要素	割合 (%)	質量	
アルミニウム	98.7	0.99	kg
マグネシウム	0.7	0.01	kg
ケイ素	0.5	0.01	kg
ニッケル	0.1	0.00	kg
包装材構成要素	割合 (%)	質量	
なし			

※ グループに含まれる全ての型番は、同一の構成をしており、形状のみが異なる。

●生物由来炭素含有量

項目	含有量 (kg-C)	含有量 (kg-CO ₂ eq)
製品あたりの生物由来炭素含有量	0.00	0.00
提供元にわたる包装資材の生物由来炭素含有量	0.00	0.00

※ グループに含まれる全ての型番は、同一の構成をしており、形状のみが異なる。

Environmental Product Declaration for PremiAL

● LCA 関連情報

> EPDタイプ情報

EPDタイプ	製品タイプ	<input type="checkbox"/> 単一製品	<input checked="" type="checkbox"/> グループ製品	<input type="checkbox"/> 業界製品
	サイトタイプ	<input type="checkbox"/> 特定サイト	<input checked="" type="checkbox"/> 複数サイト	
	開示方法	<input type="checkbox"/> 特定値	<input checked="" type="checkbox"/> 加重平均値	代表値 上限値
地理的範囲		日本、タイ、ベトナム		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける代表性の説明		アルミ形材を製造する5工場は生産工程がほぼ同等であり、アルミ形材1kgを生産するときのそれぞれの項目の活動量を歩留まりを考慮して算出し、IDEA係数を掛け合わせている。電力については日本・タイ・ベトナムそれぞれの系統電力のデータを用いている。また本EPDはcradle to gateであるため出荷後の輸送は算定対象外である。		
複数製品/複数サイトを含むEPDにおける、算定結果のト下幅に関する説明 複数製品EPDの説明		アルミ形材を製造する5拠点全てのサイトからデータ収集している。		
		-		

> LCA関連情報

算定単位 (選択してください)	kg	
宣言単位当たりの質量 (質量への換算係数)	1kg	
基準フロー (機能単位を満たすために必要な製品数)	該当しません	
システム境界	<input checked="" type="checkbox"/> Cradle-to-Gate <input type="checkbox"/> Cradle-to-Gate with options <input type="checkbox"/> Cradle-to-Grave	
LCAソフトウェア	MiLCA ver1.1.1.5	
LCIデータベース	IDEA v3.4	
特性化モデル	GWP IPCC2021 with LULUCF 100a、LIME2	
その他のバックグラウンドデータ	無し	
二次データ品質	「GPIに規定の二次データ品質を満たしたデータを用いて算定を行った。なお、データ品質評価はISO 14044: 2006 (環境マネジメント-ライフサイクルアセスメント-要求事項及び指針)の4.2.3.6に従って行った。」	
一次データ収集拠点	下妻工場、小矢部工場、有明工場、タイ工場、ベトナム工場	
一次データ収集期間	2024/4/1~2025/3/31	
生物由来炭素の取り扱い	<input type="checkbox"/> 0/0アプローチ <input checked="" type="checkbox"/> -1/+1アプローチ	
電力契約に関する情報	有無	<input checked="" type="checkbox"/> 国や地域の平均的な電力ミックス <input type="checkbox"/> その他
	種類	-
	購入日	-
	発行元	-

> 算定対象段階

資材製造段階			施行段階		使用段階								解体段階				境界外
					資材関連					光熱水関連							
A1	A2	A3	A4	A5	B1	B2	B3	B4	B5	B6	B7	C1	C2	C3	C4	D	
原材料の調達	工場への輸送	製造	現場への輸送	施工	使用	維持保全	修繕	更新	改修	エネルギー消費	水使用	解体・撤去	廃棄物の輸送	中間処理	廃棄物の処理	潜在的な負荷と便益	
■	■	■	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

■ : 算定対象 - : 算定対象外

> アロケーション

本算定では、GPIに記載の手順でプロセスの細分化およびアロケーションを検討した。結果アルミ型材製造プロセスにおいては全て同一でありアロケーションは実施しない。

> カットオフ

環境影響が微少でデータ収集が困難なプロセスは、PCRに記載のカットオフ基準5%を採用しカットオフを行った。

> システム境界

PCRに基づき設定を行った。GPIおよびPCRにて境界外プロセスと定められた、A4～Dをシステム境界外としている。時間的システム境界は100年である。

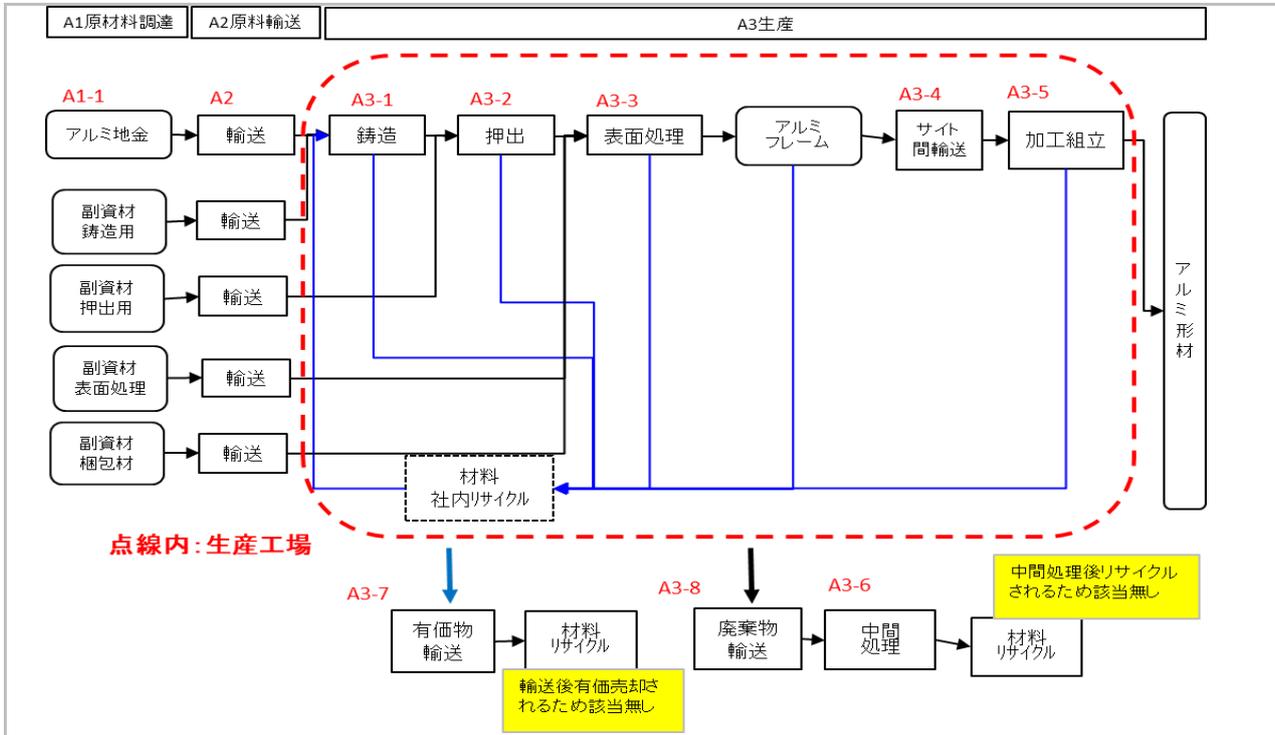
> シナリオ

モジュール	説明
A2	主原料のアルミについては輸送距離の1次データを使い算出。その他は「建材及び建設製品」のCore-PCRのAnnex. B 輸送シナリオによる。アルミ地金及び添加合金は、海外より輸入し各工場への輸送するシナリオ。
A3	サイト間輸送については輸送距離の1次データより算定、タイ・ベトナムから日本間の海上輸送距離についてはSEARATEの距離を使用（タイ～日本：5420.8km、ベトナム～日本：4475.19km）、海外陸送距離は地図ソフトより46.0km、日本陸送距離は78.3kmを使用。その他は「建材及び建設製品」のCore-PCRのAnnex. B 輸送シナリオによる。

> 電力モデリング

日本の工場の電力については2021年における日本平均の系統電力のデータを、タイ工場の電力については2021年におけるタイ平均の系統電力のデータを、ベトナム工場の電力については2021年におけるベトナム平均の系統電力のデータを用いて算定を行った。

> ライフサイクルフロー図



> LCA算定結果に関する説明

- ・輸送シナリオの概要：国間輸送は実態データの距離、それ以外はPCRシナリオに従って算定しています。
- ・EPDは、状況が変化した場合、更新又は公開が中止されることがあります。EPDの最新版、及び有効性を確認するには、以下を確認してください。<https://ecoleaf-label.jp/epd/>

●追加環境情報

> LCAに関連しない追加環境情報

ISO14001認証取得工場で生産しています。

> 有害物質に関する情報

有害物質名	CAS No.	適用される基準または規制の参照
硫酸ニッケル	7786-81-4	化審法<優先評価化学物質>：工場で使用
ほう酸	10043-35-3	化管法<第一種指定化学物質>：工場で使用

建材および建設製品からの危険物質の放出

アルミ型材からの危険物質の放出は想定されない

●用語の定義

●参考文献

- ・ISO14025:2006 Environmental labels and declarations — Type III environmental declarations — Principles and procedures
- ・ISO14040:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Principles and framework
- ・ISO14044:2006 Environmental management - Life Cycle Assessment - Requirements and guidelines
- ・ISO21930:2017 Sustainability in buildings and civil engineering works — Core rules for environmental product declarations of construction products and services
- ・EN15804:+A2:2019 Sustainability of construction works – Environmental product declarations – Core rules for the product category of construction products
- ・ISO14067:2018 Greenhouse gases — Carbon footprint of products — Requirements and guidelines for quantification